

シータテハ

澄川都市環境林の駐車場広場で捕虫網でゲットしました。2018年7月30日のことでした。この蝶には過去に一度出会ったことがありました。年次は記録していませんし、写真もありませんので、証明しようもありませんが、支笏湖水明卿で筆者の近くに止まってくれました。蝶ランプの原画を描くときにもモデルの写真で特徴的な翅の縁の切みのギサギサぶりが印象的だったので一目で同定できました。今年の6月から始めた澄川の昆虫の標本作りの成果として、標本箱にちんまりと納まっております。



和名のシーとはアルファベットの C のことです。漢字表記してみますと「C 立羽」となります。両下

翅裏に白の C の文字が刻印されているように見えます。命名の発想が同じでエルタテハがあります。シータテハと同じように裏下翅にアルファベットの L と読める白い印があるのです。非常に近い親戚どうしの証明の



シータテハ



エルタテハ

ようなものだと思います。

分布はヨーロッパからアジアにかけて広く、日本ではほぼ全国ですが、西に向かい徐々に標高の高いところとなりますので、北方型の蝶とされています。

タテハチョウたちは飛び方が敏捷なので飛んでいるのを網に入れるのは難しいのですが、羽ばたきにエネルギーを使うからでしょうか、しばしば止まって休憩してくれます。その時が捕らえるチャンスです。辛抱強く追跡すればやがて休憩停止してくれるのです。(記 高野)